

安全・雇用・平和・正常な 労政へ

第56回定期地方大会を開催



組合員の購読料は
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 阿部 力
編集責任者 宮崎浩則

No. 1668 定価
15円

2005年

11月5日

国労加入を 大胆に訴えよう

〇五年度地方委員

(新橋) 市川修、恒本肇三、池田恭三、本間直樹、神蔵和彦、堀井秀弥、野口喜伸、横倉一夫(上野) 八郷清幸、曾篠一弘、西尾一登、根本昭夫、(横浜) 藤沢積、滝口信吾、

長瀬嘉宏、鈴木雅典、富田豊、(八王子) 岡野嘉明、佐藤正治、小宮山浩雄、渡部和男、(国府津) 倉岡義正、(甲府) 久保田文雄、(宇都宮) 岡島孝夫、鈴木司、(中央) 三好登、(大宮工場) 岡本敦、(大井工場) 浦郷親義、(大船工場) 保住昭裕、(自動車) 狩野守、(相模) 小林裕二、(大宮) 吉野勲、竹内功、佐藤勲

執行体制を強化し、 組織拡大に全力

阿部委員長の挨拶、来賓あいさつの後、大会開催期日延期承認がされた。次に、経過・運動方針提起、協約・協定の締結承認提起、組

織検討委員会報告が行われた。四名の代議員から意見・質問を受け、答弁の後、拍手で承認された。

引き続き運動方針討論を一七名から受け、答弁・書記長集約の後、拍手で承認された。昼食後、予算案及び基金の取り崩しが拍手承認され、ストライキ権確立のための一票投票は、反対無しで確立された。

西日本福知山線脱線事故で犠牲となつて亡くなられた一〇七名の皆様のご冥福をお祈り申し上げ、五五五名の負傷された皆様の一日も早い回復を心からお祈り申し上げます。国土交通省航空・鉄道事故調査委員会の中間報告は、根本的な原因などは、不十分なもの。安全確保に向け、労働組合としてのチェック機能の強化、仕事総点検運動、安全総点検運動を取り組み、悲惨な事故を起こさないことを誓い合いたい。

JR職場に差別のない正常な労務政策の実現を勝ち取る闘いについて、昨年配属差別事件について一括和解し、究極の差別である昇進差別事件の解決に向け中労委での和解作業

信を持つて、この闘いを継続発展させる。その先頭に地本が立つ。組合費の二四控除について、JR東日本四支社の足並みが揃った。貨物も諸準備を行っている。諸手続きの遅れている組合員に、特段の協力を要請する。アスベスト曝露被害について、国鉄関係者では七人が認定され、既に六名が死亡している。意外と思われる職場や業務で曝露している危険性があり、対策委員会や学習会などを開催し取り組みを強化する。



第五六回東京地方本部大会は、一〇月二日(三日)に都内・発明会館で開催された。浜中副委員長の司会で始まり、代議員六一名中五五名の参加で大会が成立していることが宣言された。議長団には、議長に横浜の富田代議員、副議長に新橋の清水代議員を選出した。



国労東京の団結で組織拡大へ 執行委員長 阿部 力

第四回衆議院選挙で、与党が憲法を改憲できる三分の二を確保する事態とな

世論や決議を最大限に活かし、「政治の場で政府の責任による解決」を求める闘いを強化し、総団結して行動することが喫緊の課題。国労は全国大会で四項目の補強方針を含め、満場一致確認した。大衆行動に全力を結集し、政治解決の実現を勝ち取らなければならぬ。九・一五判決を受け、本部は「この判決を機に、戦後最大の不当労働事件というべきJR採用差別問題の国労基本要求に基づく全体解決を速やかに実現するため、組織の統一と団結を一層強化し、引き続き奮闘する」と

が正念場を迎えている。合格率はアップし、間違いなく変化が生まれている。「正常な労働関係の確立」「不公平感のない明るい職場作り」に向けた第一歩の取り組みを、国労運動に展望を切り開くものにしてゆかなければならない。和解作業は厳しい攻防になつているが、耐えうる国労東京の団結を確立することを要請する。

組織強化・拡大運動の取り組みでは、名の国労加入を勝ち取った。若い組合員の組織化に大きな可能性がある。全組合員が自信と確

中間答弁



濱中副委員長
労働組合のチェック機能強化の具体的な方向性を出そうと思う。イメージは安全総点検運動・仕事総点検運動の充実。

仕事総点検は、四月から五月位を目安に団交開催をめざす。

安全の一方の責任は労働組合にある。確實に回答を引き出す努力をする。車両メンテナンス体制も安全に寄与出来る体制であるかどうかを検証する。

アスベストは、引き続き申し出があれば受け付けるという回答。東京支社は大会終了後団交を予定。

技術継承は、会社側も大きな問題としていっているので、真剣に求め取り組みを強化する。技術力・知識・本人にあった教育で自信を持って勤務出来る教育を引き続き求める。

社員教育はJRの責任。テムズ社員がJ

昨日から経過で四名、方針で二名、合計二六名の方から発言を頂いた。大変貴重な発言が多く、今後、東京地本の運動に活かしていきたい。

地方本部化の問題は組織検討委員会で何年も検討されてきた。その中で、長年ある累積金の処理、地本雇用職員の扱い、国鉄闘争の中で置かれている東京地本の位置、その他何点か含めた議論をしてきた。その結果、今はそういう時期ではないという結論に達した。地方費の問題については認識はしている。これから各方面と話し、差別の無いように行っていく。地方本部化の持情を含め、今後組織で議論をお願いする。

レクリエーションの差別、配転・職種の差別がまだあることは承知している。この間、皆さんが歯を食いしばって闘ってきた。我々が差別を追及する中で解消して行かなければならない。今後の組合員の奮闘をお願いしたい。

R社員を教えているという事実があるなら本部に上げ、整理をしていく。出向者の団体交渉の出席について、引き続き努力を重ねていく。

リモートマルスは、八王子支社で試行実施中。経営方針と施策に食い違いがあるかどうか、八王子の闘いに学びを広げていく。

二〇九系に原因不明のドア故障、会社側も認め、処置を施したと回答。異常な動揺も指摘があった。保線側で限度を超えている箇所は一つもないと答弁。異常な動揺を感じる場合は、逐次指摘を頂き原因を追求し、不安全要素を退治していく。

シニア雇用に当たっては仕事を中心にする会社は言っている。これからも引き続き公平公正な運用を求める。

大都市近郊区間の拡大に伴う問題や、女性の働く職場の問題等について、支部を通して地本に上げて頂きたい。



石上財政・政治部長
平和センターの取り組みについて、一〇・二一の国際反戦デーをはじめ国鉄闘争と合わせて対応する。

護憲大会について、各県毎の横割り参加

アスベスト問題は、東日本本部と連携を取りながら、退職者も含めた取り組みを行っていききたい。一二月に学習会を開催する。

JR東日本とJR貨物の差別、そして国労の組織拡大に向け、しっかり手を組んでやって行く。



書記長集約

反戦平和の闘いについて、平和憲法が脅かされる現状を国労として見逃すわけには行かない。九条の会や地域の組織と連携しながら積極的に闘って行く。イラクからの即時撤退、憲法改悪反対等を訴え、全力で闘う。

安全・安定輸送について、JR西日本福知山線脱線転覆事故など、二度とこのような事

を基本に、取り組み強化する。



鈴木法政部長
貨物昇進差別は、中労委で結審して命令待ち。地本から発議し、早期勝利救済命令を勝ち取る運動の強化について検討する。

貨物二%手当て格差問題は、救済内容に不十分さがあり、再審査申し立てを行った。会社も取消を求め申し立てた。一方で早期命令確定に向け東京地裁に行政訴訟を提起し、一つの事案が中労委と東京地裁にかかっているレアケースになった。東京地裁の第一回行政訴訟の弁論準備が行われ、中労委でも第一回の調査。早期に命令確定に向け、本部側と十分連携をとり進める。

訴訟を提起し、一つの事案が中労委と東京地裁にかかっているレアケースになった。東京地裁の第一回行政訴訟の弁論準備が行われ、中労委でも第一回の調査。早期に命令確定に向け、本部側と十分連携をとり進める。

訴訟を提起し、一つの事案が中労委と東京地裁にかかっているレアケースになった。東京地裁の第一回行政訴訟の弁論準備が行われ、中労委でも第一回の調査。早期に命令確定に向け、本部側と十分連携をとり進める。

訴訟を提起し、一つの事案が中労委と東京地裁にかかっているレアケースになった。東京地裁の第一回行政訴訟の弁論準備が行われ、中労委でも第一回の調査。早期に命令確定に向け、本部側と十分連携をとり進める。



斉藤組織部長
全支部全職場オルグを日常的な行動として取り組んでいく。会社が後ろで糸を引くことが少なくない。

引くことが少なくない。国労にいと不利益という

故を起こさないためにも、JR東日本に体制を創らなければならぬ。職場で不完全なところがあれば直ちに記録し、直させる闘いをしていかなければならない。利用者の安全、働く者の安全に対して、労働組合の原点に立ち返った運動の展開を行う。

故を起こさないためにも、JR東日本に体制を創らなければならぬ。職場で不完全なところがあれば直ちに記録し、直させる闘いをしていかなければならない。利用者の安全、働く者の安全に対して、労働組合の原点に立ち返った運動の展開を行う。

ことを払拭しなければならない。

アスベスト問題は、退職者の会と協力し、社会問題として取り組む。

春闘については、春闘再構築という立場で東京地本も取り組んでいる。

一、〇四七名問題解決は、九・一五の判決を受け総団結をしていく。それで早期解決を迫る。

組織検討委員会の答申

組織検討委員会は、執行委員会から付託された「地方本部、地区本部、支部等のあり方」について慎重に議論を重ねてきました。その結果について報告します。

【議論された内容について】
一、「地区本部の運動体化」を実施する前提について
組織検討委員会は、地方本部全体の支部数は増やさない事が前提でこれまで進めていく。

東京支社内の支部の新橋支部・上野支部及び自動車支部・中央支部・大井工場支部については現状を進める。

最後に昇進差別の問題について、受験促進を訴えた結果、昨年にくらべて多くの組合員が受験するなど一定の成果が生まれている。賃金差別により、多くの仲間が国労から去っていった事実などを踏まえ、配属差別・賃金差別等を無くし、国労に加入しても差別が無いという状況を創り出さなければならぬ。

組織の状況については、団塊の世代が退職すると一、五〇〇名が辞めていく。公平・公正、差別の解消、正常な労使関係をJR東日本に求め続けていく。国労組合員が職場の中心に座り、しっかり働いている現実を他労組は必ず見ている。国労に多くの仲間を結集する闘いを続けなければならぬ。あらゆる差別の解消を求める闘いを、組合員と共に取り組んでいきたい。

本年度の東京地本の最大の目標は、組織拡大の流れを絶対に逃がさないこと。この手で捉まえておくという方向で参りたい。

規約は の関係から大きな改正は出来ない。

交付金は現状の額で考える。支部の形態は、会社組織にあわせる事は好ましいが組織や 状況、各地区本部内の現状から現実的に全体としては出来ない。

二、「地区本部の運動体化」による具体的な議論経過について
地方本部からのすべての指令・指示は、地区本部に行い、支部には行わない。(ただし、都内支部、自動車、大井、中央支部の指令・指示の扱いは現行通り)

地区本部は、地方本部からの指令・指示を各地区本部内の支部・分会に行う。

* については、「指令・指示は地方本部から地区本部に行う。地区本部は、支部・分会(地区協議会)を行うこととする。」
対外的な事柄については地区本部を基本に取り組む。

* 対外的に各支部の現在行っている事柄を整理し、基本的には、地区本部が対応することとするが、支部と調整の上対応する。

専従の配置について
* 運動体となる地区本部に配置することが望ましい。

以上の到達点から、以下の検討事項を速やかに解決し、次期大会の中で結論を得る事とする。

交付金については、現行の額とするが、支部から委譲された事柄を執行する為に支部は〇〇円を地区本部に拠出する。

規約上の問題点の整理について
その他の問題点について
委員会、組織の現状からこのまま長い時間放置は出来ないとの結論が出され、上記の問題点を精力的に解決し、「地区本部の運動体化」を早期実施すべきとの結論を得ると共に、二〇〇六年七月の会計年度を視野に入れ、今後、実施に向けた議論と準備をすることが望ましいとの結論になった。

【組織検討委員会答申】
一、地方本部・地区本部・支部・分会のあり方について引き続き組織検討委員会を設置し検討されたい

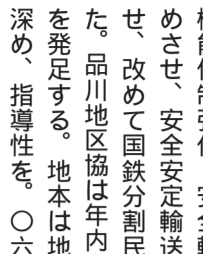
二、「地区本部の運動体化」については、議論経過及び、組織の現状から諸問題を解決し、速やかに実施することが望ましい。

経過報告及び協約・協定に関する質疑



高瀬弘人(新橋)
新橋支部総行動は国会前座り込み、JR貨物本社前行動、デモ行進等を行い、のべ一、〇〇〇名が

参加した。駅は現場長交渉を行い、制度要求八項目、労働条件九項目、職環要求九項目を申し入れた。港春闘では福知山線脱線事故で学習会を開催。参加者から、利用者の立場や労働組合として再発防止、会社へのチェック機能体制強化、安全軽視、利益第一主義を改めさせ、安全安定輸送確保の要員配置と合わせ、改めて国鉄分割民営化の検証が求められた。品川地区協は年内に「働く者の九条の会」を発足する。地本は地域共闘とのかかわりを深め、指導性を。〇六春闘ではストライキを含む大衆行動の取り組みを。



宮崎健二(大宮工場)
岡本敦(大宮工場) 貨物会社の度重なる手当の抑制で、給料が安くボーナスが少ない。会社発足時、二二、〇〇〇人いた



三好登(中央)
この一年間支部で二名組織拡大した。九・一五判決は、初めて司法の場で採用差別を不当労働行

社員が七、五〇〇名で、売上高に対する人件費比率は最低。「ニューストリーム2007」で五、〇〇〇名体制、更にコスト削減策。会社は広報には金を出すが、人には出さない。環境にはやさしいと言っているが社員には厳しい。平成一九年度問題でレール使用料などの会社間協定の見直しがある。具体的支援策



岡本敦(大宮工場)
貨物会社の度重なる手当の抑制で、給料が安くボーナスが少ない。会社発足時、二二、〇〇〇人いた



九・一五判決について、首都圏の大手新聞は一部だけ掲載。首都圏での運動の不足が痛感させられる。地本の決意を聴きた

を講じさせる必要がある。山場でのストライキを含めた闘いの設定を。他会社と年収が一〇〇万円以上違うが組合費はほぼ同じ、拠出金はまったく同じ。不公平感、不満感がある。早急な改善を。アスベスト問題で、過去の職歴、経歴、実態など調査し、現職はもとより退職者に周知徹底化を図り、学習会を。 煙中健志(上野)

アスベスト問題の解決に向け、定期的な健康診断の要請を。安全問題に関わる団交で、会社側の回答が非常に一般的。鶯谷駅ホームの点字ブロックにホームの柱が掛かっていて利用者から苦情が出た。会社は規程どおりで問題はないという回答。 職場要求を実現するために、四組合共同で要求書を出し、現場長に申し入れた。国労が積極的に呼びかければ要求は実現する。アルパについて、分会として一人三、〇〇〇円目標を超える運動をした。経営状態を回答して。



【来賓挨拶】

- 東京交運労協 岡住孝夫議長
- 東京地評 平山和雄副議長
- 東京全労協 林継夫事務局長
- 東京平和運動センター 関久事務局長
- 社会民主党東京都連合 中川直人代表
- 日本共産党 笠井亮衆議院議員
- 中央労金東京都本部 榎田秀一副本部長

- 退職者会東京地連・企業組合 羽切信夫会長・理事長
- 全交運共済東日本事業本部 宮坂義久本部長
- 国労議員団 小林正団長
- 国労東日本本部 伊藤秀樹委員長
- 国労弁護団 宮里邦雄弁護士

- 国労本部 栗原洋実執行委員
- 国労東日本本部 藤野 節副委員長
- 国労東日本本部 伊藤隆夫執行委員
- 国労東日本本部 山根主吉執行委員
- 国労東日本本部 樋口孝重執行委員

- 【来賓】
- 日本共産党 たぞえ民夫都議会議員
- 日本共産党 梶浦紘一氏
- 中央労金荒川支店 松尾智義次長
- 国労会館 古関武三専務理事
- 企業組合 金井末吉専務理事
- 国労本部 久保孝幸執行委員
- 国労本部 芝崎辰郎執行委員
- 国労本部 本間 忠執行委員

- 【メッセージ】
- 東京都労働組合連合会 増淵静雄執行委員長
- 国労水戸地方本部 高松義雄執行委員長
- 国労秋田地方本部 青木二郎執行委員長
- 国労新潟地方本部 森橋久仁雄執行委員長
- 国労千葉地方本部 土井章執行委員長

ご苦労様でした

今大会で、法対部長であった鈴木勉さんと会計監査員であった大亀孝さんが、退任されました。長い間のご労苦に感謝申し上げます。続きのご活躍に期待します。

憲法九条の改悪を許さず、自衛隊のイラクからの撤退・反戦・平和・民主主義を守る闘いの強化をめざす特別決議 (案)

小泉首相は、先の第162通常国会で郵政民営化関連法案が参議院で否決されるや、直ちに衆議院を解散し、第44回総選挙を実施し296議席を獲得した。与党である公明党の31議席とあわせ三分の二の絶対安定多数を占める結果となった。

小泉首相は、「郵政民営化」を総選挙での唯一の争点に絞り込み「改革をとめるな」と「小泉構造改革」の推進を呼号してきたが、選挙が終ると、「定率減税の廃止に伴う増税」や、「憲法改正」等もすべて信任されたかのように主張しはじめている。

9月21日に召集された第163特別国会で首班指名を受けた小泉首相は、全閣僚を再任して第三次小泉内閣を発足させ「郵政民営化」法案の早期成立をめざす考え方を明らかにするとともに、改悪手続きを定める国民投票法案の審議をするための「憲法調査特別委員会」の設置を強行した。

また、「テロ特措法」の一年間再延長をめぐり、引き続き海上自衛隊艦隊をインド洋に派遣し、アメリカ艦隊への給油作業に従事させる方向を明らかにしている。

一方、自民党は、11月の立憲50周年の党大会に新憲法案を提案しようとする準備しているが、先に発表された新憲法第一次案では、「自衛軍を保持する」と明記し、憲法九条の全面改悪と、憲法改正の手続き等の要件緩和を打ち出しており、野党民主党も基本的には、憲法改正に賛成の姿勢を明らかにしている。

憲法九条は、日本が太平洋戦争の悲惨な教訓に学び「戦力の不保持と交戦権の否定」を宣言した世界に誇りうる憲法である。

これを否定し、日本国民をアメリカの引き起こす戦争に巻き立て海外で戦争のできる国家にするために、憲法改正の手続きに着手しようとしている勢力が国会で多数を占める危険な状況となっている。

このような状況のもとで、憲法九条の改悪を許さず、自衛隊のイラクからの即時撤退、教育基本法の改悪反対、年金改悪をはじめとする社会保障制度の改悪に反対し、広範な民主勢力と共同して闘いを強化していくことを明らかにする。

以上、決議する。

2005年10月3日
国鉄労働組合東京地方本部第56回定期地方大会

大会宣言(案)

私たち国鉄労働組合東京地方本部は、2日間に亘り都内・発明会館に於いて第56回定期地方大会を開催し、向こう一年間の運動方針と当面する闘争方針を確立した。

今定期大会に課せられた課題は、一年間の闘いの総括から1047名の採用差別事件の早期解決、JR職場における労働条件の改善、組織体制の強化などを闘う中で、各級機関が一丸となり組織拡大に向けた取り組みの意思統一を固めあうことにある。

さらに私たちは、107名の尊い人命を奪い去った555名もの負傷者を出した大惨事となった4月25日のJR東日本福知山線脱線・転覆事故を他山の石とせず、職場の点検検査から安全安定輸送確保に向けた闘いを早急に構築することである。

JR東日本及びJR貨物会社は、「ニューフロンティア2008」「ニューストリーム21」を背景に益々強められる効率化・合理化施策に対し、引き続き「職場総点検運動」を強化し、国労らしく職場に根ざした闘いを構築する決意を固めあうことである。

私たちは昨年の大会以降、各支部・分会・組合員の取り組みから、平成採用者を含む〇〇名の仲間を国労に迎え入れるという、大きな成果をつくり出してきた。JR東日本会社の動きでは、配属差別13事件の和解、JR発足後の差別職場の代名詞とも言われてきた「ベンディング」職場の縮小と元系統を中心とした職場復旧、突如の不当労働行為と言われた「昇進差別」事件の和解が年末から一気に加速し、中央労働委員会を舞台にこれまで13回の協議を積み重ねてきている。さらに2月には横浜入居事件の解決、8月には鶴見駅解雇・配転事件の和解が成立するなど、JR移行後の国労との紛争事件が解決・和解へと動いてきた。

今大会では、これらの動きを職場情勢と合わせ、より一層の「差別の根絶」や国労を取り巻く様々な問題の解決・前進に向けた運動の強化を確認しあうことができた。

代表員の発言には、職場における会社の対応の変化、教育を国労組合員も入れて行うようになった等、「変化」を報告する発言と合わせ、それを振り出して来た地道な職場での努力が報告された。

発言の一つ一つは、職場労働条件の厳しさが一層増す中であっても、20年余の差別攻撃に耐え、国労組合員としての誇りを胸に、今の職場を何とかしたい、安心して退職まで働き続けられる職場をつくりたいという、強い気持ちの表れであった。国鉄労働組合東京地方本部は今こそ「正当な労働関係の確立」を、今大会の総意として会社に強く求めるものである。

闘争の仲間、JR不採用から18年という長期闘争の中で既に30名もの仲間が志半ばで亡くなり、団員の平均年齢も52歳となっており、解決には一刻の猶予も許されない状況である。私たちの闘いは、不採用事件の早期解決、組織の強化拡大、職場における労働条件改善など多くの課題があり、全組合員の更なる機関への集中が大変重要となっている。

9月11日に投票が行われた第44回衆議院議員総選挙では、自民党の歴史的勝利、自公与党の三分の二議席確保となった。今後、憲法改正を重点とした議論に拍子がかかることは間違いなく、イラクへの自衛隊派遣問題等、平和と民主主義擁護の闘いは予断を許さない状況であり、私たちはこれら政治課題についても闘うことを決定した。

採用差別事件の一日も早い解決に向けた闘い、JR職場の「不公平感のない明るい職場」「働きやすい職場」作りに向けた闘いを一体のものとし、当面する諸闘争に国鉄労働組合東京地方本部に結集する組合員は、総団結・総決起し闘い抜く決意である!

以上、宣言する。
2005年10月3日
国鉄労働組合東京地方本部第56回定期地方大会

各委員会の担当

(〇印は責任者)

戦術委員
 ○笹原、浜中、石上、江田、斉藤、山本
 組織検討委員
 ○笹原、斉藤、石上、山本、(新橋) (上野)
 (横浜) (八王子) (国府津) (大宮)



執行委員
 石上浩一
 (財政部長、
 政治部長、
 企画・業務
 担当)



書記長
 笹原助雄
 (企画部長、
 総務部長)



執行副委員長
 浜中保彦
 (総括補佐、
 業務部長、
 企画担当)



執行委員長
 阿部力
 (総括)



執行委員
 江田雄次
 (福対部長、
 業務担当、
 法対担当)



執行委員
 宮崎浩則
 (教宣部長、
 組織担当、
 業務担当)



執行委員
 斉藤由
 (組織部長、
 教宣担当、
 法対担当)



執行委員
 山本久
 (法対部長、
 企画担当)

全国組織検討委員
 阿部 石上
 全国財政専門委員
 石上、(新橋) (上野) (横浜) (八王子)
 (国府津) (大宮)
 合理化対策委員
 ○笹原、浜中、宮崎、石上、山本、江田、
 鎌田
 宿舍対策委員
 ○笹原、浜中、石上、山本
 労災・職業病対策委員
 ○浜中、宮崎、石上、山本



執行委員
 中里豊樹
 (調査担当、
 法対担当、
 業務担当)



執行委員
 石井富男
 (教宣担当、
 調査担当、
 組織担当)



執行委員
 鎌田博一
 (業務担当、
 組織担当、
 政治担当)



執行委員
 海老原悟
 (調査部長、
 組織担当、
 教宣担当)

東京支社交渉委員
 ○浜中、笹原、石上、江田、鎌田 (新橋)
 (上野) (大井工場)
 東京支社経営協議会委員
 ○笹原、阿部、浜中、石上、鎌田、江田、
 山本 (新橋) (上野) (大井工場)
 東京支社苦情処理委員
 ○浜中、石上、江田、山本 (補欠)
 東京支社簡易苦情処理委員
 ○浜中、笹原、江田 (補欠)
 東日本本社交渉委員
 浜中
 東日本本社経営協議会委員
 阿部



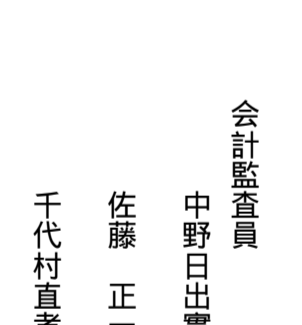
婦人部長
 阿部美津子
 (婦人部総括)



副青年部長
 柴田 互
 (青年部総括
 補佐)



青年部長
 坂本和彦
 (青年部総括)



会計監査員
 中野日出實
 佐藤 正一
 千代村直孝

東日本本社苦情処理委員 (補欠)
 浜中、石上、江田、山本
 貨物会社関東支社交渉委員
 中曾根、町田、奥村
 貨物会社関東支社経営協議会委員
 笹原
 J Rバス関東会社経営協議会委員
 笹原、自動車3名
 J Rバス関東会社交渉委員
 笹原、自動車4名
 J Rバス関東会社苦情処理委員
 自動車3名

J Rバス関東会社簡易苦情処理委員
 自動車2名
 交通共済東日本事業本部運営委員
 阿部
 東京地評
 阿部、石上、浜中、山本、鎌田
 東京交通労協
 阿部、笹原、石上、鎌田
 東京全労協
 阿部、石上、鎌田
 東京鉄関労
 笹原、浜中、石上、鎌田、事務局 (佐藤)

「がん」の生涯保障<21世紀がん保険>	
BESTプラン・1倍	ご本人の保障
初めて診断されたとき	100万円 (一時金として) がんの場合 10万円 上皮内新生物の場合
入院したとき	1日につき 10,000円
手術を受けたとき	1回につき 20万円
高度先進医療を受けたとき	技術料に応じて 6~140万円
通院したとき	1日につき 5,000円
がんで死亡したとき	10万円

・保険期間:終身・契約年齢:満3歳~満80歳・解約払戻金0コース
 <引受保険会社>
 自信があります。私の医療保険。
AFLAC アリカンファミリー生命
 東京第三営業本部 第三支社 ☎03-3344-1889
 〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

がん以外の「病気・ケガ」の生涯保障<特約MAX21終身タイプ>	
ケガの保障は90歳までとなります。	ご本人の保障 [本人型]
病気で入院したとき	1日につき 5,000円 (1日目から)
ケガで入院したとき	1日につき (手術の種類により)
がんを含む病気・ケガで 所定の手術を受けたとき	5・10・20万円

・保険期間:終身(ケガの保障は90歳までとなります)・疾病・災害入院給付金日額5千円
 ・契約年齢:満3歳~満80歳(本人型)・1回の入院については124日まで保障 ※日帰り入院(1日入院)とは、入院日=退院日の入院で、入院料の支払いの有無で、入院であるかどうか判定されます。
 ◎詳細はパンフレット、ご契約のしおり・約款をご覧ください。

■専業代理店
アベニール 株式会社
 TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
 〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F